

みのEDO

発行：多治見市美濃焼タイル振興協議会

TEL 0572-43-2141

発信：多治見市・笠原町東京情報局

TEL 03-5225-6863

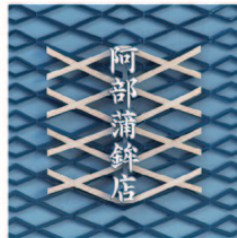
国際陶磁器フェスティバル美濃 '14 「タイル施工例コンペティション 2014」 グランプリ & 入賞作品発表



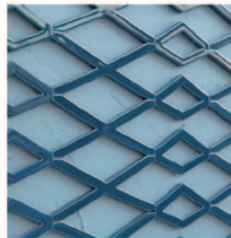
阿部蒲鉾店

海を感じるファサード

仙台を離れかまぼこ店を新しく改装するにあたり昔かまぼこの原点である海を感じるデザインを目指しました。海の色と竹籠の編みをモチーフにロゴデザインを行い、そのロゴをタイルに焼き込みファサード面に大きく展開しています。編みの柔らかさを焼き上げり手仕事感を演出し、水を通うような質感が大層感を表現しています。経年変化が美しいタイルは、今まで培った老舗の輪を継ぎ、これからも長く親しみやすい素材であると共に、タイルの質という点にも共通する工例によって生み出される事が食物職と個性の良さだと考えます。



波と籠のロゴマーク



2種類の編み合わせによるパターン



通りから見える引きの美観

■グランプリ作品 「阿部蒲鉾店本店」 株式会社乃村工藝社 / 谷 高明

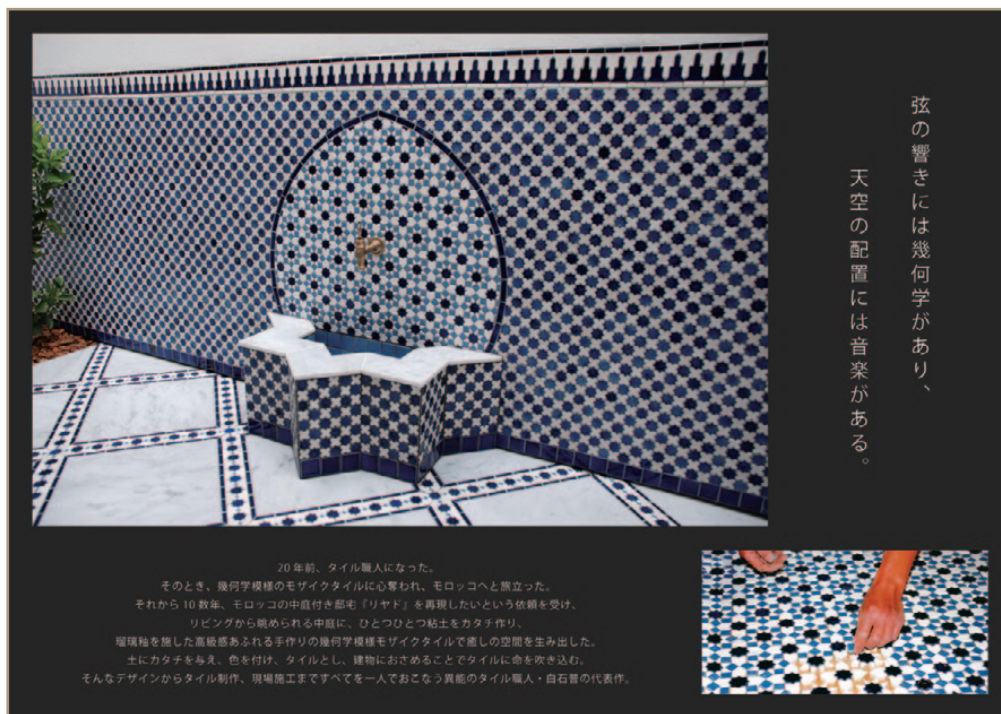
日本を代表する陶の産地「美濃」で3年に1度トリエンナーレとして開催される「国際陶磁器フェスティバル美濃 '14」は、今年9月12日（金）～10月19日（日）の期間、セラミックパーク MINO（岐阜県多治見市）をメイン会場に開催され、盛況のうちに終了した。

同フェスティバルは、世界最大級の国際陶磁器コンペティションとして知られる「国際陶磁器展美濃」をメインイベントに、陶磁器産業と文化に寄与するさまざまな事業が企画されたが、その一環として「タイル施工例コンペティション 2014」が実施され、応募されたタイル施工例の中かからグランプリほか入賞作品の発表と表彰が行なわれた。

今回は主催者（国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会）のご協力をいただき、グランプリをはじめとする全入賞作品を掲載してご紹介する。



■多治見市美濃焼タイル振興協会会長賞 「農大アカデミアセンター」 株式会社久米設計 / 小塩智也



■一般来場者賞 「O邸中庭」 白石普タイルワークス / 白石普

「タイル施工例コンペティション」募集概要と審査の経緯

「タイル施工例コンペティション2014」は、陶磁器のデザイン・文化の交流を通じて陶磁器産業と文化の高揚をめざす「国際陶磁器フェスティバル美濃'14」の企画事業の一つとして実施された。岐阜県多治見市・瑞浪市・土岐市で生産される美濃焼タイルは、内・外装から床まで建築資材として幅広く使用され、日本一の生産量を誇ることから、この事業でタイルを使った優れた施工事例を表彰することにより、店舗、住宅、ビル、マンション、公園等、様々な建築物におけるタイルの活用を奨励す

ると共に、美濃焼タイルの持つ魅力を発信するものと位置づけられている。

- ①募集期間は、2014年5月～7月末までの3カ月間。
- ②67の企業もしくは個人より、104作品の応募があった。
- ③1回の審査で審議できる応募数であったため、一次審査は全作品合格とした。
- ④9月16日に最終審査（公開）を実施。

【審査員】（敬称略）

橋本夕紀夫 橋本夕紀夫デザインスタジオ

e i s u 倶楽部箱根
「強羅山荘」

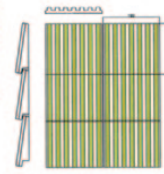


撮影：小川雄雄

都心から程近い箱根・強羅の地に「eisuu 倶楽部箱根「強羅山荘」」は建てられました。「和のテイストを纏めた新しいタイルを作りたい」設計者の持つイメージを案元のモノ/割りに対する強い情熱が支えたとき、この至高のタイルを具現化し生み出す事が出来ました。

長方形に両面スリットを付けて押し出された土の塊を、側面から斜めにカットすることで、下見板形状に成型し、更には縦方向のスリット凹部をマスキングして無軸仕上げとし、表面側の凸部には薄紙の膜を模した上に縦部軸を吹きました。

出隅コーナーの役物は均った一体成型として見せるため、成型時に生付け加工を行っています。空木の軸葉は焼成後、上端部をグラインダーで削り落し割ぎ取った仕上げと成っています。



S=18
縦部軸・平部軸
ハンドメイド仕上げ
サイズ：180x170x45t

■優秀賞 「eisuu 倶楽部箱根「強羅山荘」」 株式会社渡辺明設計事務所 / 渡辺仁・小玉佳久



中国都市部にある、高層ビルのワンフロアをゲストを招く為のクラブハウスに改修したプロジェクト。オフィスだったフロアは天井高さに余裕が無かった為、天井の仕上げはシンプルに仕上げ、壁面の素材づくりに工夫を凝らすことでそれぞれの居室に個性を与え、空間にあたたかみをつくり出した。お茶を愉しむティーエリアでは日本の職人技を駆使したオリジナルタイルを採用し、空間に存在感と手作りの痕跡が感じられる温かみのある上質なアクセントを与えている。

茶の葉をイメージしながら伝統的な七宝柄をアレンジし、六角形でリピートするようにデザインを施したタイルは、葉の一つ一つを手作業で仕上げることでだだどしさを残しながら、目地無しで壁面全体を覆い尽くすことができる非常に高い精度を誇っている。柄の凹凸が生み出す軸葉の温まりの濃淡を幾度となく調整し、透明感のある青磁色をつくり出した。壁面は役物タイルを含め3種類の形状で構成している。

■優秀賞 「CULB HOUSE」 A.N.D/ 吉村峰人

長谷川 演 株式会社アトリエテンマ
中村 拓志 株式会社 NAP 建築設計事務所
神谷 利徳 株式会社神谷デザイン事務所
水野 雅樹 全国タイル工業組合 岐阜県支部長
隅谷 建壬 多治見市美濃焼タイル振興協議会 会長
加藤 清明 岐阜県タイル商業協同組合連合会 理事長

【審査概要】

①入賞候補作品の選出

会場に、A2判パネル化した応募作品を全てテーブルに並べて最終審査を実施。審査員各位が全作品を確認し、

審査員1人につき3作品選出することとした。ただし、どうしても3点以上選出したい場合は5作品まで選出可とした。

②賞作品の選出

1点以上入った作品を賞候補作品とし、審査テーブルの上に集め、審査員全員で議論して入賞作品を選出。なお、選出する賞の種類と選出する作品数は以下の通り。

- ・グランプリ：1点 300,000円
- ・多治見市美濃焼タイル振興協議会会長賞：1点 200,000円（美濃焼タイルを使用した施行例のみが対象）



■優秀賞 「名産伊勢肉 豚捨 東京店」 GATE interior design office/ 松下 哲



■優秀賞 「鎌倉山の家」 甲村健一

- ・優秀賞：5点 50,000円（議論の結果6点となった）
- ・一般来場者賞 1点 10,000円（一般投票で一番票数を獲得した作品に授与）

③議論の経過

審査員の投票結果は、4点が2作品、2点が3作品、1点が15作品となった。4点の2作品の中からグランプリの選出を行なう事とした。

得票数4点の「農大アカデミアセンター」は、施工例として全作品の中で最も優れていると思われるが、同じく得票数4点の「阿部蒲鉾店本店」のタイルの使い方は

今までになく、斬新でタイルの表現の可能性を広げるもので、本コンペのグランプリとしてふさわしいと評価され、グランプリに選定された。

次いで、「農大アカデミアセンター」が美濃焼タイルを使用していること、グランプリ級の評価ができる作品であることから、多治見市美濃焼タイル振興協議会会長賞に選定された。

優秀賞の選定では、始めに2点を獲得した「eisu 倶楽部箱根「強羅山荘」「CLUB HOUSE」「名産伊勢肉 豚捨 東京店」の3作品が審査員の合意により、優秀賞として



たかね第二保育園(町田市)

この案では、外壁の仕上げも、内装に広がり環境と対応する外壁と、中庭とそれに続く園庭に面した内面にコンセプトから分類、外壁と内装のカラーで仕上げ、内装は暖かみのあるカラーで仕上げている。
外壁のタイルは、3種類の大きさの陶製タイルをブリックもルスタイルによる異質の組み合わせながら、全て手貼りにして仕上げ、タイルの持つ質感に「人の手の温もり」を表現し、柔らかい外壁を目指した。
「人工的な質感」を表現し、自然な質感を表現するよう工夫し、最終的には陶製のみならず、陶製以外のタイルの組み合わせも検討し、最終的には「人の手の温もり」を表現し、柔らかい外壁を目指した。

■優秀賞 「たかね第二保育園」株式会社田辺計画工房 / 田邊恵一



クロスエアタワーは、渋谷から一駅、東武田原町線の池尻大橋駅から徒歩5分に位置する、大塚ジャンクションを中心とした再開発により生み出された目黒区最大の複合タワーマンションです。

「観る・通る・乗る」
2004年の再開発事業の都市計画決定以来、8年という長きに渡り、権利者にあつては20年以上もの歴史が刻まれた中で、この期は満ちてきました。その積み重ねられた歴史とそれからの未来を「地盤」をテーマとしてデザインしたのがこの建物の部分に表現されています。地域の想いを映してひとと共に未来へ向けた継続、発展の想いをも込められたデザインとしています。

「地盤」を表現するタイルは、リアと彫り前の2種類の形状を試し、色を塗り出す中から6色を選出し、自然な「地盤」に見える様に塗り変えスタイルしました。

「大地との橋渡し」
建物の上部と下部にある地盤部分は、大地と建物をつなぐ重要な橋渡しになります。より大地を彷彿とせたい気持ちを込め、せっせとタイルとして仕上げます。

■優秀賞 「クロスエアタワー」大成建設株式会社 一級建築士事務所 / 近藤香織

選出された。

次に残りの2点の優秀賞の選定では、話し合いにより残った賞候補作品5点を候補として選び、一人2作品手を上げることができることとして、挙手による投票を行なった結果、票数の多かった「鎌倉山の家」と「たかね第二保育園」が優秀賞に選出された。最後に、地元審査員の3名から、「クロスエアタワー」について、美濃焼タイルの主力商品である45二丁のタイルを使用した好施工例であり、是非とも優秀賞に入れたいとの提案があり、他の審査員も納得されたことから、優秀賞を1点多くし

「クロスエアタワー」も優秀賞として選定した。

こうして入賞作品が決定し、10月9日(木)午後1時30分よりセラミックパークMINO国際会議場において、表彰式およびシンポジウムが行なわれた。

■国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5 セラミックパークMINO内
TEL: 0572-25-4111 / FAX: 0572-25-4138
ホームページ <http://www.icfmino.com/>

タイルクラフト作家のユニット“メロンモザイク” ユニット初のグループ展から――



渋谷秀子さん作品



右ギャラリー カフェ ブブの展示会場



美登暁子さん作品



細井由香さん作品



伊東亜由さん作品

さる9月30日まで、東京・国立市のギャラリー カフェブにて、4人の女性タイルクラフト作家で構成されるユニット“メロンモザイク”の「melon mosaicによるタイルクラフト展」が開催された。メロンモザイク（通称めろもぞ）は、カルチャースクールで講師を務める4人（伊東亜由さん、渋谷秀子さん、細井由香さん、美登暁子さん）が2009年に結成。タイルクラフトに必要なベースやタイルの商品企画、オリジナルキット・雑貨販売、講師の派遣、メディア等への普及など、メンバーそれぞれがクリエイターとして活躍するかたわらユニットとしても活動を展開している。「建築・建材展/セラミックタイル美濃2013」でも作品展示を行なったので、ご存知の方の多いだろう。

今回は、“めろもぞ”初のグループ展で、タイルクラフト・モザイクアートをはじめとして作家4人がコラボ

レーションした多彩な作品展となった。それぞれが講師を務める講座の生徒さんたちの作品も合せて展示し、クラフトの楽しさいっぱいでも多くの人に楽しんでもらえる展覧会となっていたようだ。

「タイルクラフトの魅力や可能性を多くの方に知っていただき、タイルファンを増やそう」と“メロンモザイク”では昨年、東京・代々木に『めろもぞハウス』をオープン。ここを拠点に趣味のクラフト講座やディプロマレッスン、タイルの商品開発なども進めている。

現在、メロンモザイクでは日本ヴォーグ社と協力してタイルクラフト認定講座の企画・監修を行なっている。専用のテキスト・教材で課題制作後、技術確認の審査を行ないディプロマ（修了証）を発行、タイルクラフト講師としての基礎を学べる講座である。詳しくはホームページをご覧ください（<http://melomosa.com>）。

かさはら窯ぐれ祭り実行委員会が大和市に出展—— 「全国ふるさとまつり／うまいもの市」でタイルアート体験指導！



テント外にも会場を広げて多くの方が参加



「かさはら窯ぐれ祭り実行委員会」のタイルアート無料体験コーナー



市民の皆さんがタイルアートを体験



「うまいもの市」会場の大和駅東側プロムナード



モザイク並べかえて楽しむ参加者！

神奈川県大和市の主催する「第5回全国ふるさとまつり／うまいもの市」が、さる10月4日（土）～5日（土）に小田急江ノ島線・相鉄線「大和駅」東側プロムナードで行なわれた。

全国に先駆けて「モザイクタイル」を誕生させた美濃焼きの町・多治見市笠原町でタイル企業、食器企業等で構成する「笠原陶磁器工業協同組合（かさはら窯ぐれ祭り実行委員会）」では、今回、初めてこの「うまいもの市」に出展。笠原町のモザイクタイルを提供して、両日にわたってタイルアート制作の無料体験コーナーを実施、指導にあたった。

秋日和の初日は、子どもさん、家族連れ、ご夫婦など大勢の市民や買物客がモザイク張りを体験し大いに盛り上がったが、残念ながら翌日は朝から雨のため午後からは中止となった。

「うまいもの市」とは？

大和市とゆかりのある全国の自治体が、自慢の「うまい

もの」をもって大和市に大集合するお祭り（全国から26の市町村県人会などが出店）。ステージでの様々な出し物と合せて盛り上がる市内きっての一大イベントとなっている。

モザイクアートの提案

「かさはら窯ぐれ祭り実行委員会」では、モザイクによるカラフルで多彩なデザイン表現や身近な創作アートに広く親しんでいただこうと、近年、モザイクアートの体験指導に積極的に取り組んでいる。昨年は豊田市の「とよた産業フェスタ」会場でモザイク体験教室を実施したほか、静岡県島田市の「SLフェスタ」会場でモザイク壁画制作の無料体験コーナーを実現し、完成させたモザイク壁画を島田市に寄贈した。

今年はこの大和市のほか、愛知県碧南市で開催される「技能五輪タイル競技」の会場でモザイクアート体験指導を予定している。